

# 2019年4月6～7日；四日市東日本大震災支援の会 第66回派遣 宮城県東松島市 あおい地区「春まつり」 活動報告

2019年4月15日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

宮城県東松島市では、集団移転が進み、仮設住宅の取り壊しが進んでいます。今回は、東松島市内の最大の集団移転事業でできた「あおい地区」での春まつりに参加しました。ワッフル&エビボール屋台、36mのり巻き作り、などを行いました。

宮城県東松島市；宮城県石巻市の西、松島町の東に位置し、2011年の東日本大震災では、沿岸地域だけでなく、海岸線から数キロ内陸まで津波が押し寄せ、住宅地の65%が浸水し、たくさんの方が亡くなり、多くの家屋が全壊・流失の被害を受けました。

## <活動場所>

### ■あおい地区

## ★申込方法・参加費

**参加者9名**：四日市大学学生4名、教員1名、四日市看護医療大学学生4名

**参加費**：13,000円（スタッフ7,000円）

## <スケジュール概要>

### ★4月6日（土）

06：00 四日市大学発

06：40 近鉄富田発

16：00 頃に宮城到着

17：00 元気の湯で入浴

18：00 西集会所で、あおい地区会の方々、JR 東労組高崎の方々とともに懇親会 ⇒2丁目集会所宿泊

### ★4月7日（日）

08：30～自治会役員さんたちとイベント準備

11：00～イベント 100人で36mのり巻き作り

12：00～14：00 ワッフル&エビボール屋台

15：00 東松島市出発

23：00 頃 喜多の湯有松温泉入浴

01：00 頃 四日市大学帰着：帰宅困難者は大学で避難所宿泊訓練 ⇒ 解散

